

韓国における初年次教育の現状

——「思考と表現」に関する科目を中心として——

木下 奈津紀
KINOSHITA Natsuki

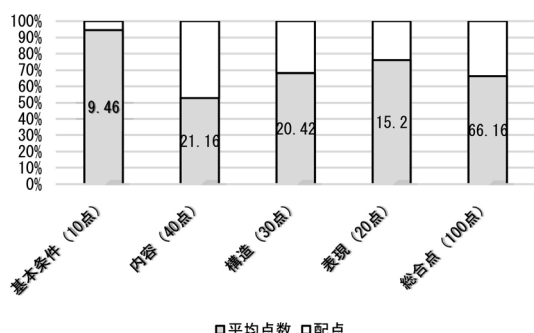
1. はじめに

筆者は、2015年3月から2017年8月まで、光州広域市に所在する朝鮮大学校外国語大学日本語科（グローバル人文大学日本語科）に勤務していた。日本語教育を実践するなかで、「日本語能力は高いが文章が書けない」など、学生の「母語力」の壁にぶつかることが少なくなかった。こうした「母語力」の問題は、朝鮮大学校の学生のみが抱える問題ではなく、韓国の大学生全体が抱える問題でもある。そこで、本稿では、韓国における大学生のライティング能力の現状と高等教育機関における初年次教育の取り組みを報告する。

2. ソウル大学校人文大学「ライティング能力評価」の結果

2019年2月初旬、ソウル大学校基礎教育院がソウル大学校人文大学の新生160人に対して「ライティング能力評価」を実施した。「ライティング能力評価」の構成は、題名表記、分量など一つの文が成立するための条件を評価する基本条件（10点）、批判的思考力と論理的構成を評価する内容（40点）及び構成（30点）、正書法と適切な語彙使用の有無を評価する表現（20点）であった。次の表1は、各項目の平均点をまとめたものである。

グラフ1. ソウル大学校ライティング能力評価分別点数
人文大学学生平均

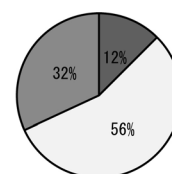


出典:「ソウル大学人文大学新生3人中1人『ライティング能力』60点にも満たない」『毎経プレミアム』2019年5月3日を参考に報告者が作成。

題名表記、分量など一つの文が成立するための条件を評価する基本条件については、10点満点中9.46点と非常に高い平均点であった。また、正書法と適切な語彙使用の有無を評価する表現についても、20点満点中15.2

点と基本条件同様に高い平均点であった。一方、批判的思考力と論理的構成を評価する内容と構成は、それぞれ内容が40点満点中21.16点、構成が30点中20.42点と低い点数となった。また、表2は、得点率を示したものであるが、全体のおよそ3分の1が落第点に相当する60点以下であった。

グラフ2. ソウル大学校人文大学生「ライティング能力評価」得点率



■80~100点 □60~80点 ▨60点以下

出典:「ソウル大学人文大学新生3人中1人『ライティング能力』60点にも満たない」『毎経プレミアム』2019年5月3日を参考に報告者が作成。

この結果について、ソウル大学校の基礎教育部長のユ・ジェジュンは「基本的な形式、スペル、語彙の書き込みの面で大きな問題はなかったが、書くことのある論理開発と証拠提示能力は非常に脆弱だった」と述べ、「大学生は問題を提起し、論理的に表現する能力を適切に育成する必要があることを示している」と付け加えた^(注1)。

このように、韓国のトップクラスのソウル大学校において、新生の思考力・表現力の低下が問題となっていることが明らかとなったが、これはソウル大学校に限ったことではなく、他の高等教育機関においては、さらに厳しい状況となっている。このような問題を受けて、韓国の高等教育機関は、思考力・表現力を高めるための初年次教育を実施している。それが「思考と表現」である。

3. 韓国の高等教育機関における思考と表現に関する教育

韓国の高等教育機関では、新生に対して「思考と表現」能力を鍛えるための科目を設置している。「思考と表現」に関連した科目では、どのような教育が行われているのか、以下で、ソウル大学校と朝鮮大学校の事例を見ていくこととする。

3-1. ソウル大学校の事例

ソウル大学校では、基礎教育院が基礎教養科目を担当しており、「思考と表現」に関連した科目として、「大学ライティング1」(2単位)と「大学ライティング2」(2単位)を設置しており、同科目の単位修得が卒業要件となっている。ソウル大学校では、2019年度まで、入学に対して「ライティング基礎」(3単位)が課されていたが、入学者のライティング能力の低下を受けて、ライティング科目の強化が図られた。

「大学ライティング1」では、批判的読解、大学で要求されるライティングの形式と方法の練習、文の体系的構造過程練習、「大学ライティング2」では、読解と討論能力の深化、省察的、批判的思考力強化、学術ライティングの練習となっており、「大学ライティング2」では、人文学、社会科学、科学技術と分野別に必要なライティングを学ぶことができるようになっている。韓国のその他の高等教育機関においても、分野別に必要なライティングが学べるようなカリキュラムになっているところも多い。

3-2. 朝鮮大学校の事例

朝鮮大学校では、基礎教育大学が「思考と表現」に関連した科目を担当している。表3は、筆者が勤務していた朝鮮大学校グローバル人文大学日本語科の1年次の時間割りである。

表1. 朝鮮大学校グローバル人文大学日本語科1年次教育課程

学年	学期	履修区分	教科目名	学点		
				講義	実習	実務
1学年	1学期	教養選択	(EGC-A)Effective Public Speaking	2.0	0.0	3.0
		教養選択	EGC	2.0	0.0	3.0
		教養必修	文化招待席	1.0	1.0	0.0
		教養必修	教養日本語	3.0	3.0	3.0
		教養必修	思考と表現1	2.0	2.0	0.0
		教養必修	新入生セミナー	1.0	1.0	1.0
		専攻選択	文化経験	1.0	0.0	1.5
		専攻選択	日本語基礎文法	3.0	3.0	0.0
		専攻必修	初級日本語会話1	2.0	0.0	3.0
	2学期	教養選択	(EAL-A)人生と4次産業革命	2.0	2.0	0.0
		教養必修	思考と表現2	2.0	2.0	0.0
		教養必修	日本の理解	2.0	0.0	0.0
		教養必修	ヒューマンメディア感性コーディング	3.0	2.0	2.0
		専攻選択	文化体験	1.0	0.0	1.5
		専攻選択	日本語案内	3.0	3.0	0.0
		専攻選択	日本語実用文法	3.0	3.0	0.0
		専攻必修	初級日本語会話2	2.0	0.0	3.0

出典:「朝鮮大学校グローバル人文大学日本語科」ホームページを参考に報告者が作成

1年次の前期に「思考と表現1」、後期に「思考と表現2」が設置されている。講義内容については、「思考と表現1」は、ディスカッションとプレゼンテーション、「思考と表現2」は、ライティング中心の講義内容となっている。「思考と表現2」については、現在、講義動画が公開されており、誰でも視聴できるようになっている。「思考と表現2」は大きく分けると「学術的ライティング訓練の基礎」と「テキスト読解と批評訓練」で構成されている。「学術的ライティングの基礎」は、主に「参考文献検索と脚注表記方法」、「討論戦略書の書き方」、「学術的報告書を書く基礎」、「自己紹介書の書き方」、「論文」

について学ぶ内容となっている。また、「テキスト読解と批評訓練」は、小説を読んだり、映画を見たりして、争点と質問目録を整理したり、PQA2RSマップを活用して草稿作成のための概要に切り替える訓練をしたりする。そして、現在は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンデマンドで授業が行われているため、第13回、第14回の講義で、学生課題の公開フィードバックを行っている。

また、朝鮮大学校では、基礎教育大学に「ライティングセンター(글쓰기 센터)」が設置されている。「ライティングセンター」では、ライティング専門相談チューターと一対一の文章相談が可能である。また、ライティングスキルを総合的に推進するためのプログラム(特別講演、コンペティションなど)の提供も行っており、朝鮮大学校では、授業外でもライティングスキルのアップを図ることが可能である。

4. おわりに

本稿では、ソウル大学校、朝鮮大学校の事例を取り上げたが、その他の高等教育機関においても、初年次教育への取り組みが行われている。韓国における大学入学者の思考力・表現力の低下は「詰め込み未教育」の影響が大きいと言われている。大学での初年次教育の取り組みも必要であるが、高校までの教育の見直しも必要である。

注

- 1「ソウル大学人文大学新入生3人中1人『ライティング能力』60点にも満たない」『毎経プレミアム』2019年5月3日 (<https://www.mk.co.kr/premium/life/view/2019/05/25482/>) 2022年3月4日最終閲覧)

参考文献

- <ホームページ>
- 「韓国低迷『苛烈な詰め込み教育』のなれの果て 学力トップ…やがて最下位転落」Sankei Biz、2016年3月13日 (<https://www.sankeibiz.jp/macro/news/160313/mcb1603131708001-n4.htm>)
- 「ソウル大学校 基礎教育院」(<https://liberaledu.snu.ac.kr/node/89>)
- 「ソウル大学人文大学新入生ライティング平均点66点…工大に後れを取る」『毎経プレミアム』2019年5月3日 (<https://www.mk.co.kr/premium/life/view/2019/05/25482/>)
- 「朝鮮大学校 基礎教育大学」(<https://liberaledu.snu.ac.kr/>)
- 「朝鮮大学校 グローバル人文大学日本語科」(<https://japan.chosun.ac.kr/japan/index.do>)